令和２年（2020 年）４月 15 日
豊中市立第十三中学校 学校だより

Team13

校訓「自主・創造・敬愛」

ホームページ URL　http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/jh13/

自立学習のススメ

休校期間が長くなってきています。通常なら４月中旬から教科の授業が始まりますが、今年はまだ学級開き自体もできていません。教科書は間もなくお渡しできそうです。

この休校期間中に、ぜひ自分で学習する習慣をつけましょう。学校再開後、今年はいつもに比べて授業を少し急ぎ足で進めていく必要があるかもしれません。学習に対する心身の準備をしておいて、学校再開後にすぐに対応できるようにしておきましょう。

近年「反転学習」といって、学生が先に予習をしておいて疑問に思ったことなどを中心に学習を進めていく授業方法があります。今年はそんな風に皆さんの予習を前提に授業を進めていくことも必要になるかもしれません。

４つのＣＨ

前回の学校だよりで入学に際した PTA 会長様の祝辞を載せました。ピンチをチャンスに変える、というお話でした。そのためにはどうすれば良いでしょうか。

PIN<u>CH</u>（ピンチ）	今は確かに**ピンチ**の状況です！
<u>CH</u>ALLEGE（チャレンジ）	ピンチをチャンスにするため**挑戦する**気持ちが必要！
<u>CH</u>ANGE（チェンジ）	そして、今までの自分を**変える！**
<u>CH</u>ANCE（チャンス）	その**良い機会です！**

この学校が始まらない新学期を、自主的に学習する姿勢を身に着けるチャンスととらえましょう。もし今回その姿勢が自分の生き方としてきちんと自分の中に定着すれば、それはすごい財産となります。

天はその人に乗り越えられない試練は与えない、と言います。きっと皆さんならできます！

教科書配付について

2，3 年生の皆さん、やっと新学年の教科書を配付できるようになりました。教材等もお渡しします。原則として保護者にお渡ししますが、詳細は別紙のお知らせをご覧ください。

4 月 20 日（月）10 時～12 時　・　4 月 21 日（火）10 時～12 時

昨年度の教室（転入の方は職員室）にお越しください。できるだけ上靴をお持ちください。各日 10 時頃は込み合うと思いますので、その場合は三密を避けるため、校舎に入るのを外でお待ちいただく場合があります。大きめのカバンをお持ちください。受取りのない場合は後日ご自宅に配送します。なお、新クラスの発表は当面の間は行いません。

自分で学習を進める方法

1)一定のペース、自分のペースで学習する習慣を身につけましょう。

1 週間の時間割を決めましょう。学校での 9 教科の週標準時間数は次のとおりです。

	国	社	数	理	音	美	体	技家	英
1 年	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4
2 年	4	3	3	4	1	1	3	2	4
3 年	3	4	4	4	1	1	3	1	4

【例】3 年生の時間割（50 分学習して 10 分休み）

	8:10－8:20	8:30－	9:30－	10:30－	11:30－	昼休み	13:30－
月	朝読書	国語	理科	英語	保体		数学
火	朝読書	英語	数学	社会	音楽		美術
水	朝読書	社会	英語	国語	技･家		理科
木	朝読書	理科	社会	国語	数学		保体
金	朝読書	数学	英語	理科	保体		社会

2）教科書の読み方

・繰り返し読む、それでもわかりにくければ音読してみる。
・重要点や疑問点をメモに取りながら読む。
・下線を引きながら読む。

3）メモの活用

・教科書を読みながらメモとる。（それをあとでノートにまとめる。）
・大切と思うポイント　→　どんどんメモに書いてゆく。

4）ノートの作成

・学習日、教科書のページ番号、問題番号などを書く。
・ノートを作る　→　メモを見ながら、学習の流れがわかるようにまとめてゆく。
・重要な部分を目立たせる。矢印や色（マーカー）などを使う。
・余白を作りながらゆったりと書く。復習した時など後から追加で書けるように。

5）図書やインターネットで詳しく調べてさらに理解を深める

・NHK for School などで関連動画を見る。13 中の HP にリンクがあります。
・図書や公的な機関のインターネットはほぼ信頼できる。****.go.jp、****.ed.jp など。
・Wikipedia、や大きな会社の発信している内容は信頼できるものが多い。
・民間のサイト、個人で書かれているものは、上のサイトで同じようなことが書かれていないかを調べて信頼できるかどうか判断する。

6）演習で理解の定着　＆　分からないところはそのままにせず質問を

・問題集などで理解度のチェックをする。間違えた問題は学習しなおして繰り返しする。
・保護者、先生、先輩、友人、インターネット上で質問など。

教職員も感染症拡大防止のためテレワークが導入されました。ご理解のほどお願いいたします。